

<取材のお願い>

2025年2月21日

静岡県立大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）

タイの若手研究者が静岡県立大学で老年看護と災害看護を学ぶ

～静岡市の地域包括ケアシステムや災害対策を視察～

静岡県立大学看護学部では、3月2日（日）～3月7日（金）、タイのコンケン大学看護学部より大学院生1名、研究者7名、計8名を招へいし、「高齢社会と災害対策における看護教育」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。

タイ北部にあるコンケン大学は国内でもトップクラスの総合大学で、同大学看護学部と静岡県立大学看護学部は2006年に部局間交流協定を締結しています。

タイではアジア主要新興国の中で最も早いペースで高齢化が進んでいます。また、毎年5月から9月にかけての洪水災害は大きな社会問題で、特に高齢者への身体的・心理社会的影響は大きく、災害看護・老年看護教育のニーズは高くなっています。しかし、災害看護分野の先行研究や学部教育での取り組みが不十分で、この分野の強化が求められています。

一方、先に高齢社会となった日本では、高齢者の尊厳保持と自立生活支援を目的とした地域包括ケアシステムの発展に力を入れています。また、災害看護については、1995年の阪神・淡路大震災での経験を契機に体系的な枠組みが整備され、研究と実践の両面から世界をリードしています。

本プログラムの目的は「静岡市の地域包括ケアシステムの実際」と、それに関連した災害対策の実践的な知識を習得し、高齢社会と災害時における看護職者の役割を学ぶことです。

具体的には、講義のほか、国際看護学術セミナーにて両大学の若手研究者が学術交流を行います。さらに、静岡県立総合病院や訪問看護ステーション、介護老人保健施設、保健所を訪問し、日本の地域包括ケアシステムを学びます。また、静岡県地震防災センターの見学や災害看護の講義を通して、災害時の看護職者の役割と対策について理解を深めます。そして、最終日にはプログラムの評価と振り返り、意見交換会を行います。

本プログラムをきっかけに、両国の健康寿命の向上、地域との災害に備えた連携、両大学の共同研究および国際頭脳循環が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外

の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、タイの若手研究者が病院や介護施設等を視察する様子、最先端の防災センターを見学する様子、日本の研究者と意見交換を行う様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の根岸まゆみ講師へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●講義 ●視察：静岡県立総合病院、訪問看護ステーション、静岡県地震防災センターほか ●国際看護学術セミナー ●意見交換会

【実施場所】 静岡県立大学、静岡県立総合病院、静岡県地震防災センターほか

【研修日程概要】

3月2日（日）	午前：来日 午後：オリエンテーション（静岡県立大学小鹿キャンパス）
3月3日（月）	午前：学長表敬訪問、国際交流センター視察、学内見学（同大学草薙キャンパス） 午後：静岡県立大学看護学部にて講義「日本における高齢化と終末期ケアモデル」、「高齢者虐待：専門職チームの協力と公衆衛生看護師の役割」学部長挨拶、歓迎会（同大学小鹿キャンパス）
3月4日（火）	午前：静岡県立総合病院視察、看護部長・師長とディスカッション 午後：静岡県地震防災センター見学、同センター油井所長による講義「静岡県における災害予防対策」
3月5日（水）	午前：静岡県立大学看護学部にてキャンパスツアー 午後：静岡県立大学看護学部にて講義「老年看護教育について」
3月6日（木）	午前：「訪問看護ステーションおしか」を視察し訪問看護師とディスカッション、介護老人保健施設「ケアセンター池田の街」を視察し看護師や介護福祉士とディスカッション 午後：国際看護学術セミナーにて若手研究者（教員・院生など）による学術交流とネットワーキング（静岡県立大学小鹿キャンパス）
3月7日（金）	午前：研修の評価と振り返り、意見交換会（同大学小鹿キャンパス） 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

静岡県立大学
 （担当：高橋）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ
 JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：太田）